

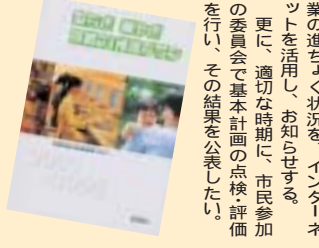
### 市の基本方針

**京都21推進プランの進捗状況の公表**

京都市基本計画の前年5年間の実施計画である、安らぎ華やき 京都21推進プランが今年3月に策定された。基構想、基本計画、同推進プランの一貫して市民参加の下で策定したことから、同推進プランの進捗状況について、詳しく市民に情報公開すべきと考えが、市民の方々に示すことが大変重要と考えてあり、市民しんぶんによる情報提供の充実のほか、新たに、推進しפור上版称を発行し、更に、年次計画書に基づく政策・事業の進捗状況を、インターネットを活用し、お知らせする。更に、適切な時期に、市民参加の委員会で基本計画の点検評価を行い、その結果を公表したい。

**外郭団体の整理統合・経営改善に向けた取組**

近年の厳しい経済状況の下、再開発型の第三セクター



「環境大賞」の創設

秋田県は、環境大賞を創設して、環境保全全般に関する実践活動が他の規範となる個人や団体を表彰することにより、県民の環境保全に関する自主的な取組の促進を図っている。本市でも、環境保全の観点から、環境大賞の創設を提案する。

**再資源化技術に関する取組**

この度、循環型社会推進課が新設されたが、環境先進都市・京都の実現に向けて、この課の果たす役割は重要である。資源循環に向けた新しい再資源化技術の研究と、その事業化に向けた取組を、今後、どのように進めようとしているのか。

### 環境の保全

5月18日の本会議では各会派から8人の議員が代表して、市政の各般にわたって市長や関係理事者に質問を行いました。本号では、その主なものをお伝えします。

## 本会議の代表質問から

**「環境大賞」の創設**

秋田県は、環境大賞を創設して、環境保全全般に関する実践活動が他の規範となる個人や団体を表彰することにより、県民の環境保全に関する自主的な取組の促進を図っている。本市でも、環境保全の観点から、環境大賞の創設を提案する。

**再資源化技術に関する取組**

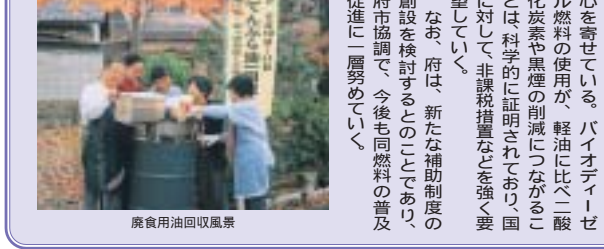
この度、循環型社会推進課が新設されたが、環境先進都市・京都の実現に向けて、この課の果たす役割は重要である。資源循環に向けた新しい再資源化技術の研究と、その事業化に向けた取組を、今後、どのように進めようとしているのか。

**バイオエタノール燃料の普及**

バイオエタノール燃料は、再生可能な資源から製造されるため、カーボンオフセットとして、燃焼時は都市ガスと同程度の熱量がある。



バイオエタノール燃料製造実証プラント



廃食用油回収風景

### 保健福祉のまちづくり

**総合的な少子化対策に向けた推進体制**

少子化対策には、多方面から分析・評価を行い、総合的な対策を講ずるための機構づくりが必要だ。全庁的な連絡会議の設置の検討など、今後の推進体制の在り方を考える。

**母子医療相談センターの整備**

疾患の診断や治療だけでなく、育児上の問題など、より広範囲での対応が可能な母子医療センターの整備が求められている。京都府二香十字病院と一体的に整備される母子医療相談センターは、どういった機能を果たしていくのか。

**出産育児一時金の前倒し支給の早期実現**

健康保険の出産育児一時金は、出産後に申請し、支給される仕組みだが、12年末、24万円を限度に出産費用を無利子で貸し付け、出産後に一時金から差し引く制度が、国で創設された。市の国民健康保険でも、早急に一時金の前倒し支給を実現すべきだ。見解は、



母子医療相談センター

### 経済の振興とまちづくり

**二信用金庫破たんによる中小企業支援策**

二信用金庫破たんへの対策では、既に市会の態度は明らかだ。中、市に何が出来るかが問われている。市会の意思を早く受け止めて、二信用金庫破たんの被害から中小企業の救済を、明確に表明すべきではないか。

**ネクタイのセーフガード**

市場で中国産ネクタイの急増は、西陣織や京友禅などの地場産業の崩壊の大きな要因だ。この度、中国産のネクタイの輸入制限が発動され、全国の注目と業界の切実な期待が集まっている。ネクタイのセーフガード発動を国に求めるべきではないか。



小学生がデザインした西陣織のネクタイ

### 環境目標達成のための京都高速道路計画の中止

**バイオエタノール燃料の普及**

バイオエタノール燃料は、再生可能な資源から製造されるため、カーボンオフセットとして、燃焼時は都市ガスと同程度の熱量がある。

**廃食用油回収風景**

廃食用油の回収は、資源の有効利用と環境保護に貢献している。

**環境目標達成のための京都高速道路計画の中止**

高速道路の建設は市内に放射状の10%削減目標を逆行する市内交通量が増えることに加え、環境に悪影響を及ぼすことが懸念されている。

### 意見書

5月定例会では、意見書3件を可決しました。これらの意見書は、内閣総理大臣など、関係機関に提出しました。(すべて全会一致)

京都議定書発効のための国際合意の実現に関する意見書

地球温暖化が21世紀における最も深刻な問題となる中で、国際社会は、これまで長きにわたって、気候変動枠組条約の発効とそれに続く京都議定書の採択などを通して、地球温暖化防止のための国際的合意を積み重ねてきた。

また、京都においては、21世紀の社会に求められる理想の実現に向け、市民が議定書誕生の地であることに大きな誇りを持ち、掛け替えのない地球環境を守るための様々な取組を進めてきたところである。

この度、世界最大の温室効果ガス排出国である米国が京都議定書からの離脱を表明し、京都議定書を無効とする発言を繰り返していることは、地球環境を保全するための国際的な取組を後退させるものであり、大変遺憾である。

よって国におかれては、地球温暖化防止京都会議(COP3)の議長国として率先して京都議定書を批准し、地球温暖化防止の国内制度を構築するとともに、京都議定書の2002年発効を目指して、米国をはじめ世界各国に対しても、国際的なリーダーシップを発揮し、7月のCOP6再開会合において国際合意に到達するよう主体性を持って粘り強く働き掛けるべきである。

また、環境問題におけるディーゼル車の排ガス規制対策も重大な課題となっている。

よって国におかれては、トラック運送事業者の健全経営を目指し、平成12年2月8日付け「運輸省自動車交通局長依頼」及び同年3月17日付け「近畿運輸局長依頼」を有効なものにするるとともに、下記の事項について十分配慮するよう強く要望する。

**記**

- 1 トラック運送事業者と荷主との公正な取引関係の確立及び指導の強化を図ること。
- 2 国と自動車メーカーの責任で低公害車の開発、軽油の良質化を図るとともに、トラック運送事業者の健全経営を促進すること。

また、環境問題におけるディーゼル車の排ガス規制対策も重大な課題となっている。

よって国におかれては、トラック運送事業者の健全経営を目指し、平成12年2月8日付け「運輸省自動車交通局長依頼」及び同年3月17日付け「近畿運輸局長依頼」を有効なものにするるとともに、下記の事項について十分配慮するよう強く要望する。

**記**

- 1 トラック運送事業者と荷主との公正な取引関係の確立及び指導の強化を図ること。
- 2 国と自動車メーカーの責任で低公害車の開発、軽油の良質化を図るとともに、トラック運送事業者の健全経営を促進すること。

市会が採択した請願  
桂川橋りょうの建設  
〔右京区・西京区〕